



フランス文化論

日本に息づく ケルト文化の魅力

講師：池田 雅之

早稲田大学・名誉教授



12月16日 月 13:00~14:30

会場：語学センター LL403B教室

* 本講演は後期開講「フランス文化論」(担当：国際学部・大場静枝)の授業の一環で開催します。受講者以外の方の聴講も歓迎します。

講義概要：日本の中には、多くのケルト文化が息づいています。日本人はなぜこれほどまでにケルトの文芸や音楽に惹かれてきたのでしょうか。ケルト2500年の歴史に触れながら、島のケルトのもつ文化的魅力を、皆さんといっしょに見つけてみたいと思います。日本人に馴染みのある神話伝承、ハロウインの起源、アイルランドが生んだミュージシャン(エンヤなど)や作家たち(小泉八雲など)にも触れる予定です。

Profile：三重県生まれ。専門は比較文学、比較文化論。小泉八雲、T.S.エリオットの翻訳家としても有名。NPO法人鎌倉てらこやの理事長をを長らく務めた後、顧問に就任。著書は『ラフカディオ・ハーンの日本』『小泉八雲 日本の面影』『猫たちの舞踏会—エリオットとミュージカル「キャッツ」』など、訳書は『小泉八雲 東大講義録—日本文学の未来のために』『新編 日本の面影』『新編 怪談』『キャッツ』など多数。

